



発行所 ☎730-0012
 広島市中区上八丁堀8番10号
 建設業労働災害防止協会広島支部
 発行人 高見誠一
 TEL(082)228-8250
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号
 中外印刷株式会社
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建災防広島」の購読料が含まれています。 11月号

無事故の歳末 明るい正月

平成28年度 建設業年末年始労働災害防止強調期間 (平成28年12月1日～平成29年1月15日)

建設業における労働災害は、昨年は、全国で死亡災害が327人となり、平成25年の342人を下回り、過去最少となり、県内建設業の労働災害もご案内のとおり昨年は死亡災害3件、死傷災害324件といずれも過去最少を記録したことを、9月13日開催された広島県建設業労働災害防止大会で確認しあい、みんなで喜んだところでした。

ところが、本年になって、誠に残念ですが、巻末の資料のとおり、1月は前年同期の倍、2月が同じく5割増しという状況で大幅増加傾向が続き、そのうち、前年を下回らず、と期待していたところ、一度も前年同期を下回ることなく、9月末現在、219件(うち死亡2件を含む)と、前年同期の210件を9件4.3%上回っている状況で、このままでは28年は死傷災害300件以下の達成が危うくなり、死傷災害を5年間で15%減らし、最終年の平成29年に294件以下にすることはかなり厳しい状況といわざるを得ません。

発生すれば死亡災害につながりやすい墜落・転落災害が、依然として多発し、しかも昨年同期に比べ、増加していることは、まだまだ足場の規則改正の効果、特別教育の効果が十分でない状況が伺われます。3時間短縮の

作業経験者向け特別教育を他県支部より多く開催していますが、まだ半年以上あるとして受講されないケースも少なくないと考えています。

昨年7月から県下で始まった「建設業フィンガー・チェック運動」も宣言店社・現場の労働局への届け出が一息ついた状況になっています。

昨年来「STOP! 転倒災害プロジェクト」運動を全国的に推進しているものの、転倒災害は昨年より多く、その発生状況はベテラン高齢者、若年経験浅い方の、通路、足場などのつまずき等の転倒災害にその特徴が認められています。

今まで災害が減少する中で、言われてきた人手不足、技術者技能者不足によるリスクの増加も、いまや災害発生状況の悪化として現実味を帯びてきたのではないのでしょうか。

今年もあと2か月を切り、期間限定の工事が重なり、現場の管理の徹底が図り難いとされる年末年始がやってきますが、この労働災害防止強調期間にあたり、今一度、広島県建設業労働災害防止大会の誓いの言葉を噛みしめ、運動の盛り上げを期待したいところです。



建設業労働災害防止協会

目次

無事故の歳末 明るい正月	1
解体工事における労働災害防止のための研修会が開催されます!!	2
長時間労働削減をはじめとする「過重労働の解消」に向けた取り組みに関する広島労働局長要請が行われる。	3
11月「過重労働解消キャンペーン」実施に関する協力のお願い(要望書)	4
塗装・接着・防水作業等に使用する化学物質を取り扱う皆さんへ!	5

次

建設業における平成28年度(4月～9月) 司法事件一覧(送致事案)	6
もうお済ですか? 足場の組立て等特別教育(経験者用3時間)	6
労働災害発生状況	7
広島県の建設業死傷災害月別発生状況の比較	7
講習・行事コーナー (平成28年11月～平成29年1月)	8

解体工事における労働災害防止のための研修会が開催されます!!

近年広島県内の建設現場において戦後建築されたビルの立替工事が盛んになるとともに、低層住宅を含め、解体工事作業中の死亡災害が平成25年から28年現在まで、下記のとおり、続発しております。このため、本年11月下旬により県内2カ所において広島労働局が工事関係者に対し、労働災害の防止のため研修会を下記により開催予定です。

建災防広島県支部も解体工事の労働災害防止対策について、広島労働局と協力して取組を行うよう平成28年度事業計画を立てていたところ、労働局健康安全課長より、建災防会員事業場による解体工事の労働災害防止対策の事例発表依頼がありました。本件につきましては、戸田建設(株)広島支店に「解体工事労働災害防止対策」の事例発表をしていただくことしておりますので、是非ともご参加いただくようお願いいたします。

広島県内における解体工事中の死亡災害発生状況（平成25年～28年10月）

発生年月	職 種	年 代	経験年	災 害 発 生 状 況
25年1月	土工	70代	42年	木造家屋解体中、床材とともに2.3m墜落
25年8月	解体工	60代	40年	鉄骨民家の梁を溶断中、崩壊した天井とともに墜落
26年3月	作業員	10代	1年	ホースを除去しに近寄り旋回した解体機械に挟まれる
27年8月	アルバイト	10代	1年	ビル解体中6階ガラ投入口から21m墜落した
27年10月	運転手	50代	7年	ビル解体中、移動式クレーンの荷が落下し下敷きになる
28年2月	作業員	40代	2年	民家解体中、落下したベランダ部の下敷きになる

1 開催日時 及び場所

福山会場 平成28年11月22日（火）13時30分～15時30分

三吉コミュニティセンター（福山市三吉町2-8-5 電話084-923-8865）

広島会場 平成28年11月28日（月）13時30分～15時30分

広島合同庁舎3号館1階共用15号会議室

（広島市中区上八丁堀6-30 電話082-221-9243）

2 研修内容（予定）

挨拶 広島労働局労働基準部長

研修1 「解体工事業の労働災害発生状況及び関連安全衛生法等について」

広島労働局労働基準部健康安全課 担当産業安全専門官

研修2 「解体工事における統括者の安全対策事例について」

建設業労働災害防止協会広島県支部 講師

研修3 「広島県からの連絡事項について」

広島県 解体工事業関係 担当者

3 研修申込方法

広島労働局健康安全課（電話082-221-9243）あてご照会ください。

長時間労働削減をはじめとする「過重労働の解消」に向けた取り組みに関する広島労働局長要請が行われる。(11月は過重労働防止等啓発月間です)

昨今の新聞紙上に、広告大手企業に勤務する女性新人社員の過労自殺、鑄造会社に勤務する外国人技能実習生の過労死がそれぞれ労災認定された記事がありました。

平成27年度の長時間労働による脳・心臓疾患の過重労働健康障害や過労精神障害の労災認定申請はそれぞれ795件、1515件と高止まりし、労災申請はいわば氷山の一角といわれる実態も伺われる状況です。

昨年12月1日から当面50人以上の規模の事業場（企業規模でなく）に対し、1年以内ごとに1回、ストレスチェックを行い、労働者が職場で受ける心理的な負荷の程度を把握する制度を設けることが決まりました。（支部報平成27年10月号参照）

今年の全国建設業労働災害防止大会が名古屋市で開催され、シンポジウムのテーマは「建設業のメンタルヘルスの必要性とこれからのあり方」でした。この中で、講師から、心配事や悩みのストレスがたまり、睡眠不足になると、脳内のコルチゾールという物質を過剰分泌させ、このため脳の前頭葉左側にある部分の血流を悪化させることが、この場所の機能の低下につながり、注意力の低下を招き、不安全行動になって現れ、災害リスクを高めることが、医学的に証明されているとの発表がありました。心配ごとで睡眠障害になると、労働災害の要因にもなることがありますので、単なる健康問題にとどまらない課題も見えてきます。

当然ながら、長時間労働と睡眠不足は、「健康と生活の疫学調査」のなかで、長時間労働が続くと次第に睡眠時間が短くなることが分かっています。過重労働対策は、この様に「メンタル面」の対策と「長時間労働」の抑止が大きなポイントになります。

広島労働局では労働条件に関する匿名の相談メールを24時間受け付けていますが、建設業の現場、店社から「今、深夜の時間も仕事を続けている。どうにかしてほしい。」「近所の現場事務所は夜遅くまで電灯が消えず仕事をしているようだ、職員の顔色も悪いが放置すれば、事故にならないか心配だ。」といった相談・情報があり、現に「仕事が忙しく月100時間の時間外を監督署から指導された、どうすべきか。」との話を聞くことも稀ではない日常があります。

キャンペーン期間中、残業時間数1か月80時間を超える可能性のある事業場等に対する全件監督が行われることになっています。

全国一斉「過労死解消相談ダイヤル」無料相談が11月6日（日）に実施されました。

広島労働局長の関係団体等に対する要請も別紙のとおり行われました。

単に、残業を減らせ、休日を増やせ、年休を取れ、でなく、そうすることが職場でできるかどうか、できない事情、理由があれば、ネックは何か、改善策をどうすればいいか、考える機会に是非していただくようお願いします。

詳しくは、当支部ホームページをご参照ください。

別紙

平成28年10月5日

建設業労働災害防止協会広島県支部支部長 殿

11月「過重労働解消キャンペーン」実施に関する協力をお願い
(要望書)

日頃より、労働行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法(平成26年法律第100号)」においては、11月を「過労死等防止啓発月間」と位置付けているところであり、広島労働局におきましては、これを踏まえ、本年も11月を「過重労働解消キャンペーン」期間と定め、長時間労働削減の取組を推進することといたしました。

もとより、デフレから完全に脱却し、経済の好循環を回し続けるためにも、長時間労働を是正し、生産性を向上させることが非常に重要であります。

また、長時間労働を是正し、年次有給休暇を取得しやすい環境を整備し、働きやすい職場としていくことは、今後の企業の発展に不可欠となる優秀な人材確保に当たっても避けて通れない取組であります。

しかしながら、本県の年間労働時間の状況(平成27年)をみると、1,794時間と全国平均の1,734時間をかなり上回っている状況にあります。一方、本県の年次有給休暇の取得率(平成26年)は、46.8%と全国平均の47.6%を下回り、平成32年までの政府目標である取得率70%に大きく及ばない状況にあります。

以上の状況から、広島労働局としましては、過重労働解消に向けた強力な取組の推進が極めて重要と考えているところです。

このため、11月の「過重労働解消キャンペーン」期間中の取組といたしまして、

**時間外労働時間数 1 か月80時間を超える可能性のある事業場などに対する全件監督
全国一斉「過重労働解消相談ダイヤル」(無料)**

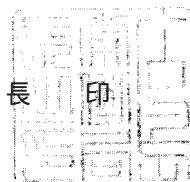
労働局長による働きやすい職場環境を整える企業へのさらなる働きかけ

などを実施することとしております。

御案内のとおり、本県の有効求人倍率は8月に1.65倍、全国順位では、上から4番目と、非常に高い水準にあり、この点からも本県においては、他県に増して、上記の「過重労働解消キャンペーン」の取組が必要と考えているところです。

貴団体におかれましては、改めまして、この11月のキャンペーンに向けた取組につきましてご理解いただくとともに、このキャンペーンが円滑にできますよう、別添リーフレットをご活用いただくなど、傘下団体・企業等に対する周知啓発に向けたご協力の程、何とぞよろしく願い申し上げます。

広島労働局長



塗装・接着・防水作業等に使用する化学物質を取り扱う皆さんへ！
ラベル表示、SDS（安全データシート）、リスクアセスメントの対象に27物質が追加されます。
労働安全衛生法施行令が改正されました。（平成29年3月1日施行）

建設工事現場における塗装、防水、接着等の作業には、様々な種類の化学物質が使用されています。その数は6万種類とも言われ、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則等関係規則で規制されている125物質を含む640物質について、安全データシート(SDS)等から危険・有害性を特定し、事業者がリスクの見積りを行い、リスク低減措置を検討したうえで対策を実施するとともに、関係労働者にリスクアセスメントの結果を周知することが必要になりました。(平成28年6月1日施行)
 今まで製造許可対象物質7物質及び労働安全衛生法施行令別表第9の633物質の合計640物質が対象となっていました。今回の改正で亜硝酸イソブチル等27の化学物質が令別表第9に追加されました。ただし、アルミニウム、ペルフルオロオクタン酸、沃素化合物(沃化物)は既存の番号内に挿入され、同時に、沃化メチルを削除したため、合計数が667物質でなく、663物質になります。次の3点が義務づけられます。

- 1 事業場における「リスクアセスメントの実施」
- 2 譲渡提供時の「安全データシート(SDS)の提供」
- 3 譲渡提供時の「容器等へのラベル表示」

化学物質を取扱う事業場では、

これらの化学物質は、洗浄剤、塗料、接着剤など日頃化学物質を意識していないものに含まれています。

容器のラベルに危険有害性を示す絵表示(GHマーク)のついている製品については、メーカー等から提供される安全データシート(SDS)を確認し、人体に及ぼす作用や、取扱い上の注意を把握しましょう。

SDSの情報をもとにリスクアセスメントを実施しましょう。

化学物質を取扱いに関するリスクアセスメントの実施については、本誌9月10日号を参照して下さい。

追加される物質

該当物質の含有率が裾切値未満のものは対象となりません

物質名	CAS番号	裾切値	
		ラベルの表示	SDS(通知)リスクアセスメント
亜硝酸イソブチル	542-56-3	1%未満	0.1%未満
アセチルアセトン	123-54-6	1%未満	1%未満
アルミニウム	7429-90-5	1%未満	1%未満
エチレン	74-85-1	1%未満	1%未満
エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート	112-07-2	1%未満	0.1%未満
クロロ酢酸	79-11-8	1%未満	1%未満
0-3-クロロ-4-メチル-2-オキソ-2-H-クロメン-7-イル=O'O"-ジエチル=ホスホチオアート	56-72-4	1%未満	1%未満
三弗化アルミニウム	7784-18-1	1%未満	0.1%未満
N,N-ジエチルヒドロキシルアミン	3710-84-7	1%未満	1%未満
ジエチレングリコールモノブチルエーテルジクロロ酢酸	112-34-5	1%未満	1%未満
ジクロロ酢酸	79-43-6	1%未満	0.1%未満
ジメチル=2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホナート(別名DEP)	52-68-6	1%未満	0.1%未満
水素化ビス(2-メトキシエトキシ)アルミニウムナトリウム	22722-98-1	1%未満	1%未満
テトラヒドロメチル無水フタル酸	11070-44-3	1%未満	0.1%未満
N-ビニル-2-ピロリドン	88-12-0	1%未満	0.1%未満
ブテン	25167-67-3 107-01-7 590-18-1 624-64-6 106-98-9 115-11-7	1%未満	1%未満
プロピオンアルデヒド	123-38-6	1%未満	1%未満
プロペン	115-07-1	1%未満	1%未満
1-プロモプロパン	106-94-5	1%未満	0.1%未満
3-プロモ-1-プロペン(別名臭化アリル)	106-95-6	1%未満	1%未満
ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム	13775-53-6	1%未満	1%未満
ヘキサフルオロプロペン	116-15-4	1%未満	1%未満
ペルフルオロオクタン酸	335-67-1	0.3%未満	0.1%未満
メチルナフタレン	90-12-0 91-57-6	1%未満	1%未満
2-メチル-5-ニトロアニリン	99-55-8	1%未満	0.1%未満
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	1%未満	0.1%未満
沃化物	7681-11-0 他	1%未満	1%未満

平成27年・28年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)
 広島労働局 (平成28年9月末)

事故の型別	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊倒壊	激突され	はね飛ばされ	切れこすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接	有害物質との接	感電	火災	交通事故	動作の反動	その他	合計
平成27年	(1)78	24	11	18	6	9	(1)20	19	2	0	1	0	0	8	14	0	(2)210
平成28年	(1)83	27	11	12	(1)9	9	22	19	2	1	2	1	0	5	15	1	(2)219

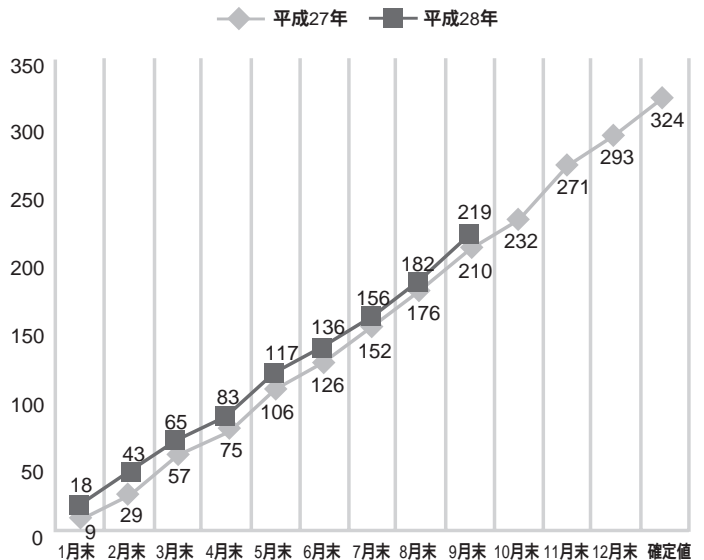
()内は、死亡の内数

平成27年・28年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)
 広島労働局 (平成28年9月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業							対前年増減数	対前年増減数 (%)	建設業 / 全産業 (%)
	平成27年			平成28年			増減数	平成27年			平成28年						
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計				
広島中央	3	597	600	1	580	581	-19	1	60	61	1	62	63	2	3.3	10.8	
呉	1	163	164	3	207	210	46	0	16	16	0	19	19	3	18.8	9.0	
福 山	3	371	374	4	390	394	20	0	38	38	1	47	48	10	26.3	12.2	
三 原	3	101	104	1	110	111	7	0	15	15	0	12	12	-3	-20.0	10.8	
尾 道	1	149	150	0	125	125	-25	0	20	20	0	17	17	-3	-15.0	13.6	
三 次	0	94	94	1	116	117	23	0	13	13	0	20	20	7	53.8	17.1	
広島北	2	233	235	0	224	224	-11	0	30	30	0	28	28	-2	-6.7	12.5	
廿日市	2	183	185	0	192	192	7	1	16	17	0	12	12	-5	-29.4	6.3	
合 計	15	1,891	1,906	10	1,944	1,954	48	2	208	210	2	217	219	9	4.3	11.2	

広島県の建設業死傷災害月別発生状況の比較
 平成27年・28年9月末発生

	平成27	平成28	増減%
1月末	9	18	100
2月末	29	43	48.3
3月末	57	65	14
4月末	75	83	10.7
5月末	106	117	10.4
6月末	126	136	7.9
7月末	152	156	2.6
8月末	176	182	3.4
9月末	210	219	4.3
10月末	232		
11月末	271		
12月末	293		
確定値	324		



平成28年度講習計画

(平成28年11月～平成29年1月末までの計画)

建設業労働災害防止協会広島県支部

建設工事に従事する労働者の
ための安全衛生教育
「建設従事者教育」(6時間)
*要請により、随時実施(支部)

作業主任者技能講習の日程

足場の組立て等	実施場所	担当分会	コンクリート造の工作物の解体等	実施場所	担当分会	木造建築物の組立て等	実施場所	担当分会
12月6～7日	広島市	広島	11月28～29日	広島市	広島	1月12～13日	福山市	福山
型枠支保工の組立て等	実施場所	担当分会						
1月18～19日	広島市	広島						

特別教育等の日程

足場の組立て等(3時間)	実施場所	受付分会	自由研削砥石取替え等業務	実施場所	受付分会	酸欠・硫化水素危険作業	実施場所	受付分会
11月18日	広島市	広島	1月24日	福山市	福山	12月7日	呉市	呉
25日	呉市	呉						
12月14日	広島市	広島	巻き上げ機(ウインチ)運転	実施場所	受付分会	低圧電気取扱業務	実施場所	受付分会
1月28日	広島市	広島	1月17日	広島市	広島	12月15日	広島市	広島
						1月18日	呉市	呉
足場の組立て等(6時間)	実施場所	受付分会	丸のご取扱い作業	実施場所	受付分会			
12月20日	福山市	福山	1月24日	広島市	広島			

職長等各種教育の日程

職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	安全衛生推進者教育	実施場所	受付分会	足場能力向上教育のみ	実施場所	受付分会
11月15～16日	広島市	広島	11月17日	福山市	福山	12月6日	福山市	福山
12月12～13日	福山市	福山						
1月25～26日	広島市	広島						

*詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。
なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部(082)228-8250

広島県支部各分会

広島分会(082)228-8252
呉分会(0823)22-6886
福山分会(084)924-4320

三原分会(0848)63-9920
尾道分会(0848)22-8918

三次分会(0824)62-4391
廿日市分会(0829)31-0196

ホームページアドレス

建災防広島県支部 <http://www.jcosha-hiroshima.jp/>
建災防広島県支部広島分会 <http://www.jcosha-hiroshima.jp/hiroshimabunkai/>
建災防広島県支部福山分会 <http://fukubun.sakura.ne.jp/>
建災防広島県支部三次分会 <http://ww7.enjoy.ne.jp/~khm62/>